

IV章を含む指針素案全体の作成に向け、検討の視点を具体化させた資料です

1 たくましい“君津の社会教育”のために

君津市の社会教育は、すべての施設が連携、協力し、今後も地域の教育力向上、地域の活性化に向けた取り組みを行います。その際、発想転換すべき点の工夫や、見直しなども重要です。

これからの君津市の社会教育が、どのような社会情勢の中でもたくましく展開できるよう、施設数、運営、その他発想の転換・工夫などについて、大局的な観点でご意見をいただきたいと思います。

人や学校、機関とのつながりを大切にし

地域、君津市内外の人の交流を生み

ふるさとの自然、歴史、文化を生かし

暮らしや地域の課題解決に役立ち

人、地域、君津を生き生きと輝かせる
“君津の社会教育”の展開



2 検討の視点（工夫・見直しの視点）

君津市では、将来の世代に大きな負担を残さずに良質の市民サービスが提供できるよう、公共施設全体にわたり見直しを進めているところです。

とくに、次の施設数や運営方法（直営、民間活力の導入）などは重要な検討事項です。

- 施設数（複数ある施設などについて）
- 運営形態（直営、民間活力の導入など）
- 施設維持・更新が必要となってくる状況について（効果的な方法の工夫等）
- その他の発想転換等（その他、工夫、新たな発想・見直し点など）

3 社会教育施設等の基本的な機能・検討の要素等

① 地域交流センター・公民館～地域の活動・交流拠点として

- 地域の人たちの学習、文化、地域活動の場として広く活用されています。
- 子どもから大人まで地域の人が日頃から交流を深めあう地域コミュニティ醸成に関わる業務を行っています。
- 地方創生、学校再編など地域、学校が新たな時代を迎える中、地域内外の新たな交流、地域と学校とのより深いネットワークづくり、地域の人々の新たな活躍の場の創造、人材育成支援、地域の魅力の発掘など、これまで以上に地域のさまざまな可能性を生かす取り組みが重要となります。
- 分館・支館施設、今後老朽化の進行などが予測されます。

② 資料館～ふるさとへの愛着と誇りの育成の場として

- 久留里城址資料館と漁業資料館の二館で、生まれ育った土地の自然や文化を学び、ふるさとへの愛着や誇りをもった人を育む、魅力的なまちづくりの柱となる業務を行っています。
- 先人の残した文化遺産や歴史、古くから残る風習や伝統芸能等の調査研究を行い、貴重な文化財を守り後世に伝える業務を行っています。
- 君津の魅力向上を図る観光要素としての役割も有しています。
- 今後、子どもから大人までが直接見たり触れたりして学べるような資料の有効活用が重要です。

③ 図書館～正確な情報のステーションとして

- 課題解決や学びを支援する資料提供・資料相談、新たな情報や地域の歴史資料の収集・保存を行っています。
- 分室、移動図書館ひまわり号などのネットワークで、全市域へ図書館サービスを行っています。
- より正確で信頼性の高い情報提供、郷土資料の収集、保存、地域内外への発信と、市民生活の課題解決や地域の活性化に役立つ取り組みが重要です。

④ スポーツ施設～健やかな心と体の育成の場として

- スポーツ広場の設置、学校体育施設開放などを通じ、市内各地で、心身の健康に資することができる環境を整えています。
- 一部指定管理者制度を導入しています。
- 各地域でスポーツ活動が行える環境が求められます。
- 使用範囲・性質が限られる施設（例：プール施設など）についての効果的な配置が求められます。

⑤関連施設等

・地域改善対策集会所

- 人権教育推進、地域住民の交流促進を目的に設置され、地域人権教育の拠点として、関連事業を行っています。
- 今後の老朽化などが視野に入ります。

・君津市民文化ホール

- 専門設備の整った大規模ホールとして文化、芸術活動の拠点となっています。
- 指定管理者制度を導入しています。

・生涯学習バス

- 生涯学習活動に資する公共のバスとして、2台運行をしています。
- 多様な使用希望がある中、より教育の支援に役立つ運行が求められます。

3 工夫の一案として

①施設の有効活用・複合化等による新たな交流と活力の創出

公民館など、老朽化対策、耐震化が必要な施設等の課題解決には、教育施設の機能、経費、工事等にかかる期間などを総合的に勘案し、大規模改修、改築などの検討が必要です。その際、今後使用が見込むことができる公共施設、とくに学校校舎の転用は効果的で、積極的に検討することが重要と考えます。

- 学校施設の活用により、公民館活動やスポーツ・読書の環境などを効果的に提供することが可能です。
- 久留里城址資料館、漁業資料館と連携した展示スペースの設置、体験活動事業など文化財の活用・普及活動や、文化財の適切な整理・保管が可能です。
- 社会教育施設以外にも、柔軟かつユニークな発想で複合施設を検討することで、地域の活性化に資する人々の新たな交流を生み出す可能性が広がります。

《学校施設転用のイメージ》

地域に新たな活力を生み出す機関との複合化、ユニークな発想での施設の活かし方も積極的に検討

学校施設転用により、公民館・資料館などの機能を展開。図書コーナー・スポーツなどへの有効活用が可能。



人々の新たな動き・新たな交流・新たな活力

② その他の工夫・発想の転換など

- 運営は、社会教育業務の維持・向上が望めるものを精査し、直営、指定管理、委託などから、適切な方法を選択することが重要と考えます。
- 図書館は、分室の配置、ひまわり号の巡回、学校図書室との連携など、多様なサービスを行っていますが、今後、新鮮な情報の提供、メリハリのあるサービスの充実化のために、分室の効果的な配置の見直しも重要と考えます。
- 近隣類似施設を活用しながら機能を維持できる施設や、時代状況の変化で施設の新たな活路の開拓などが考えられる施設について、地域の活性化という点での見直しが効果的と考えます。施設の設置目的、経緯などに十分配慮しつつ、関係者のみなさんと丁寧な協議を進めることが重要と考えます。
- 教育の支援に役立つ、より効果的なバスの運行のために、生涯学習バスを(仮)「教育支援バス」として運行の見直しを図ることが重要と考えます。